碧水だより

○平成２２年　２月２２日発行　第　６号
○阿蘇市立碧水小学校　　文責　麻生廣文

○１面　碧水小学校社会科自主研究発表会
　　熊本型教育推進フォーラム報道
　２面　家庭科授業研　持久走大会　卒業
　　制作　熊日コン　冬季五輪　碧水
　　校あれこれ　２，３月行事予定表

学ぶ心　鍛う心　磨く心

清らかな碧水の心を育てるために

自ら『調べ、考え、表現する』子どもの育成をめざして　社会科自主研究発表会

三年・五年の社会科の授業公開
三年・阿蘇たかな漬け工場のしごと
五年・情報と社会「阿蘇テレワークセンター」

十二月三日（木）本校の自主研究発表会を開催しました。本校は平成二十二年度に熊本県小学校社会科研究会の会場校になっています。そこで、阿蘇郡市小学校社会科研究部会の授業研究会を兼ねて開催しました。四十名ほどの先生方の参観がありました。研究の視点の一つに地域素材の教材化があり、阿蘇市にちなむ教材を開発しました。

三年一組

三年一組では、阿蘇たかな漬けの工場の見学をもとに、「工場の仕事」を勉強しました。阿蘇たかなは、仕入れ先の農家の畑によって仕入れの時期にずれがあります。外輪山を登る太陽の一日の動きで日当たりが場所によって微妙に違っているために、一度に大量の原料が運び込まれることなく、漬け物づくりが進められます。外輪山を模した大きな地図に蛍光灯の光を当てながら、成長のずれを実感しながら学習しました。

（写真上）大きな地図や大きさの違うたかなの模型で興味を引きつけます。
（写真下）外輪山模型で畑によって、日当たりが異なることを科学的にも実感します。

五年一組

五年一組では、情報化の進展を学びました。「阿蘇テレワークセンター」の見学や甲斐さんや松尾さんに来ていただいて学習を進めました。この日は八台のパソコンを体育館に設置し、「ＷＥＢＴＶ－アソ」を子どもたち自身がネット検索して、情報を集めました。「どんな情報」を「何のために発信しているか」を学びました。これまでの国語科の勉強で学んできたインタビューの仕方などを駆使して、聞き取っています。

（写真上）体育館後方にパソコンを８台配置し、ネット検索が学校で直接できました。
（写真下）阿蘇テレワークセンターの甲斐さんにインタビューして聞き取りしました。

第７回熊本型教育推進フォーラム・本校分科会に二百名！

確かな学力と豊かな心を育む熊本型の授業をめざして

千名参加！

～新教育課程を具現化する熊本型授業の展開～

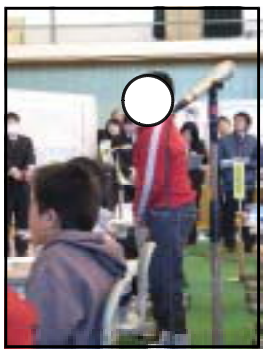
第七回熊本型教育推進フォーラム阿蘇大会が、阿蘇体育館をメイン会場に、県内の約千名の教育関係者の参加のもと二月六日（土）開催されました。

午前中は全体会があり、来賓の阿南熊本県教育次長あいさつ、佐藤阿蘇市長様の歓迎と励ましのあいさつがありました。その後、「生きる力」を育成する場としての全員参加の授業づくりという演題で、新富康央國學院大学教授による骨太の学力とねうちづくりについての講演がありました。全国に先駆けて本県が取り組んでいる授業づくりが今回の学習指導要領の改訂の趣旨にそったものであることなどを評価していただきました。

午後からは、阿蘇北中・立野小など八会場に分かれて、国語や算数数学、英語、道徳などの分科会があり、本校でも五年一組の田上先生が国語の授業を約二百名の先生方の前で公開しました。子どもたちの堂々とした発表や学習シートへのびっしりとした書き込みなど、参加者が大変驚いていました。一口に二百名という教師の授業参観は珍しく、田上先生を研究部長にしてのこれまでの本校の取組に期待された方々が詰めかけたのです。これまでの本校児童のがんばりに感謝した次第でした。全職員で準備を進め、学校あげて盛り立てた授業公開でした。

（写真上）二百名の先生方の前で緊張気味に授業が始まりました。

（写真上）じっくり考え、書いてまとめ、自信をもって挙手します。



授業の様子

（写真上）当たったら堂々と発表します。集音マイク六台設置。

（写真上）授業の自評や研究テーマの受け止めや授業づくりの視点を説明します。質疑で質問に答える田上先生です。
（写真下）体育館いっぱいにセットされた分科会会場で、県下でも国語の研究ではトップクラスの質疑・協議がなされました。

研究協議の様子

全国に先駆けて本県が取り組んでいる授業づくりが今回の学習指導要領の改訂の趣旨にそったものであることを評価していただきました。

大会終了後、来賓の阿南熊本県教育次長あいさつ、佐藤阿蘇市長様の歓迎と励ましのあいさつがありました。

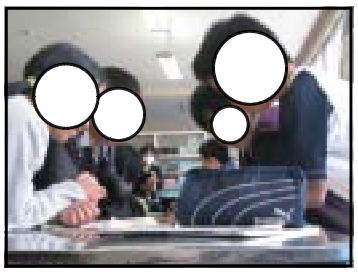
公開授業・・・５年国語「目的に応じた伝え方を考えよう」「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう」の単元

阿蘇郡市教育研究会家庭科部会授業研究会

十月二十六日（月）郡市の家庭科部会の授業研究会が本校で行われ、６年生の竹田先生が授業しました。

外の班の献立表に感想や気付きを述べ、参考意見にしてもらいます。

家庭科には衣食住の分野があります。子どもたちが班ごとに考えた献立にさらに一工夫を考える「食」の時間でした。健康志向からヘルシーさが求められ、一品が酢の物などに代えられたり加えられたりしました。



意見や感想を聞いて自分の班の献立に一工夫しているところです。

竹田先生は長い教職あって、郡市教研では家庭科の研究授業をとんどの教科で、家庭科だけを実践してい家庭科が未知の分野だったそうです。自分から授業者に立候補したという話が一生続くことを教えられます。学びは一生続くことを教えられました。

校内持久走大会

高学年 デッドヒート

１２月２２日（火）。高学年の路上でのデッドヒート。高学年になると迫力があります。

中学年 一斉スター

１２月１６日（水）、一斉にスタートする中学年部の様子。男女に分かれて競いました。

低学年 レース真っ最

１２月８日（火））。低学年の部。レース真っ最中です。次第にきつくなりますが負けません。

六年生の話題から

卒業向けて…卒業記念

いつの間にか三十三名の六年生が近付きました。卒業式に向けて、卒業記念品の制作づくりは、思い出づくりの一人一人共同に取り組んで作ります。大きな板に貼り付けた個人作制作は、一人の顔彫り版木に一本ずつ桜の木を植えます。

上の写真は、共同の作品制作に朝の会や業間、昼休み時間に取り組んでいる様子です。

自分の顔を彫るということは卒業時の自分をみつめるということです。

快挙！○○○君 熊日学生音楽コンクールで熊本市

六年生の○○君は熊日学生音楽コンクールの本選を終え、十二月十三日、グランプリ、熊本県賞につぐ熊本市賞を受賞しました。バイオリン小学生部門最優秀賞です。最後の学年で素晴らしい栄冠を収めました。

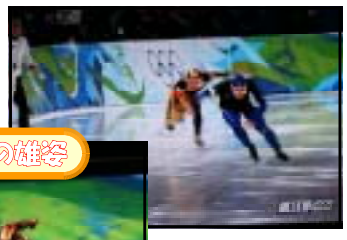
おめでとう！

バンクーバー冬季五

何となく盛り上がりに欠けたバンクーバー大会ですが、男子五百メートルスピードスケートで、長島選手と加藤選手の銀と銅のメダル獲得で勢いがつきました。

取ることは、日本のトラックの厚さを物語るものです。銀は金に次ぐ点が足りないところで、銀と同じ良いものと書きます。銅は金を目指して四年間黙々と練習にはげんできたその血のにじむような努力の金を駆けぬけたと思ったことです。

高橋選手も銅メダルを獲得しました。



長島選手の雄姿

テレビ画面をデジタルカメラで撮影した写真です

フレー、フレー、

いよいよ後半戦になりますが、フィギュアやクリスタルジャパン（カーリング）の選手たちの活躍が楽しみです。

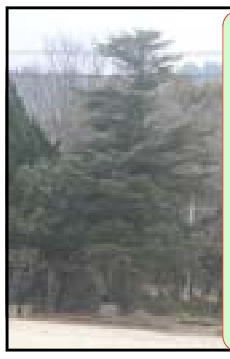
碧水校あれこ

校是

県下広しといえども碧水小学校のように「校是」を定めている学校はありません。その校是とは、

踊り山の社の杜の泉の水は、清冽にして豊かに村々を潤し、水面に阿蘇の山々の四季を映して流れた。その碧き水は、今地上から消え碧水の名のみが残った。わたしたちは、地上に消えた碧の水をわたしたち一人一人の心に受け継ぎ湧かし、その水のように清らかな心の持ち主になろう。

シンボリツリーもみの木



現在運動場南側にあるシンボルツリーのもみの木は、平成元年三月に記念樹として、昔を偲んで植えられたものです。昭和四十四年四月三日に伐採され、昔の木材が玄関に飾られています。

昔の木は運動場の真ん中にあり存在感があった

シンボルツリーもみの木です。清らかな碧水の心とは、校歌より「学ぶ心」「磨く心」と決めています。

2・3月行事予定

2月予定（如月）

１日(月)	身体測定週間(~5)
２日(火)	全校集会(表彰)
３日(水)	学力テスト（国社）
４日(木)	学力テスト（算理）
５日(土)	熊本型教育推進フォーラム阿蘇大会
８日(月)	市人権同和教育実践報告会
９日(火)	外国語活動研修会
１２日(金)	児童集会
１６日(火)	音楽集会
１７日(水)	三校教職員研修会
１８日(木)	花いっぱい運動・三校会
２３日(火)	縦割り班遊び・委員会
２４日(水)	認定会・職員会議
２５日(木)	新入児一日体験入学

3月予定（弥生）

２日(火)	全校集会・委員会
５日(金)	授業参観・ＰＴＡ総会・学級懇談会
９日(火)	児童集会・ＡＬＴ授業
１５日(月)	児童会総会
１７日(水)	卒業式練習開始
１９日(木)	阿蘇中保護者説明会 くまさんデー(饗の日)
２３日(火)	卒業式予行練習
２４日(水)	６年生修了式
２５日(木)	卒業式
２６日(金)	１～５年修了式
２７日(土)	学年末休業日
３０日(火)	退任式